

衣装にも工夫を凝らし、しまくとぅばを披露する出場者=15日、読谷村文化センター鳳ホール



【読谷】第18回しまくとぅば語やびら大会(県文化協会主催)が15日、読谷村文化センター鳳ホールで開かれた。子どもから大人まで県内各地の代表27組35人が出場。出場者は、民話や体験談など身ぶりを交えそれ

「地域の言葉」たくみに

しまくとぅば
語やびら大会

それぞれの地域の言葉で語り、観客を楽しませた。

地域によって言葉が異なることなどに配慮し、舞台には大きなスクリーンが設置され、発表内容を共通語の字幕で流した。

今帰仁村立兼次小4年の上間ま

きさんは、看護師になる夢について発表した。看護師を目指す理由として、東日本大震災で同年代の子どもが多く亡くなったことや介護士である父親への憧れなどを挙げ、「うーくのちゅんちやーぬ命んたしきーる仕事すれーやーうむといびん(多くの人たちの命を救う仕事に就きたいと思っています)」と締めくくると、観客から温かい拍手が送られた。